

お話

東京都教育庁指導部義務教育指導課

吉田 元先生

東京都昭島市立光華小学校

安藤 浩太先生

国語科の特徴

国語科は「言葉による見方・考え方」を働かせながら、様々な言語活動を通して、言葉を正確に理解し適切に表現できる資質・能力を育む教科です。

幼児期では、遊びや生活の中で経験したことや考えたことを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養っていきます。気持ちや行動をコントロールしたり、他者とやり取りしたり、絵本や物語を楽しんだりするなど、言葉を介して身近な人と関わりながら多くのことを学んでいます。そしてそれは、資質・能力の育成に大きく寄与しています。

また、幼児期では自分なりの言葉で話すこと、友達や保育者の話を聞くこと、いわゆる「話すこと・聞くこと」といった音声言語が中心であり、小学校では、そこに「書くこと」「読むこと」といった文字言語での学びが加わります。このような用いる言語の特徴を自覚し、幼児期に育まれた言葉に対する感覚や言葉で表現する力を生かしながら、円滑に接続できるようにすることが求められます。そのために、絵本や紙芝居などの児童文化財を教材や学習活動に取り入れたり、幼児期の学びを生かし、環境の構成を工夫したりするとよいでしょう。

そういった言葉の育ちは、国語科だけでなく、小学校でのあらゆる学習の基礎になっていくと言えます。

幼児期の遊びを通した学び

遊びや生活の中での様々な感動体験を言葉で伝えたり、聞いたりしながら、話すこと、聞くことの楽しさを味わいます。そうして保育者や友達と心を通わす中で、絵本や物語に親しみながら豊かな言葉や表現を身に付けていきます。また、遊びや生活の中で、文字に親しみ、興味や関心をもつようになります。

具体的には…

- 自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友達の考えを聞いて取り入れたりしながら遊びを進める面白さを味わう
- 園庭で知らない虫を見つけた驚きや嬉しさを友達に伝えたり、絵本や図鑑で虫について調べることを楽しんだりする
- 読み聞かせで読んでもらった絵本を気に入り、繰り返し絵本を見たり読んだりしながら、文字への興味や関心を深める

幼児期の 遊びを通した学び

と

国語科 話すこと・聞くこと

とのつながり



遊びを通した学び

リズムに乗って…
「こうやって手を伸ばすとい
いかな?」「うん、かっこい
い!」と自分の考えを伝え
たり、相手の考えを分
かったりしながら、踊り
を楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

いつでも友達と一緒に踊ることを楽しめるように、身に付け
るものや音楽をかける機器などを環境として用意しています。
幼児が互いに思いを出し合いながら遊びを進めているかを大
切にしています。



遊びを通した学び

帰りの会での振り返り…
「今日はね、□□ちゃんと
一緒に鬼ごっこしてね…」
と学級の友達や保育者に
楽しかったことを自分な
りの言葉で伝えることを
楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

帰りの会など学級で集まる場面で、幼児が安心して楽しかった
ことを伝えられるように、集まり方を工夫したり、必要に応じ
て言葉を補ったりします。聞いてもらう喜びや伝わる嬉しさを
感じられるように、保育者も幼児と共に話を聞きます。



遊びを通した学び

虫探し…
「あ、蝶々見付けた!アゲハチョウか
な?」虫を発見したワクワク感。思わ
ず友達に話したことに共感しても
らって喜んでいる。



遊びを通した学び

当番交代…
「明日のモルモット当番は、
○○グループです」「今日
のお休みは、△△君で
す」当番交代やお休み調
べの中で、相手に伝わ
るように当番や生活グ
ループ名、友達の名前
を学級に伝えている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

当番活動名や、交代する友達やグループ名を学級全体に
伝えられるよう、時間を設けています。話す側も聞く側
も分かりやすいよう、当番表を掲示しています。



遊びを通した学び

ごっこ遊びの場面…
「プリンセスになって踊りましょ!」
と、ごっこ遊びの中で、自分の
やりたいことを友達に話して、
なりきって表現している。



遊びを通した学び

製作…
「どうやってつくるか教えて?」「い
いよ!こうやってね…」と友達に聞
いたり、動作と言葉で伝えたり
している。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見とれますが、ここではあえて「話すこと・聞くこと」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ
- 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないよう集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ
- 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ

幼児期の遊びを通した学び

思いの実現に向けて、考えを伝えたり相手の話を聞いたりしている。
振り返りで、相手に伝える言い方を考えながら話そうとしている。

目標	<p>(知識及び技能) 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉にはまとまりがあることに気付くことができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) お互いの話に関心をもって話したり聞いたりすることができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験を生かして話したり応答したりすることができる。</p>
学習計画	<p>①(他教科との関連) 学校探検をして学校の様々な「人・もの・こと」と関わりを深める。</p> <p>② 学校探検で出会った「人・もの・こと」から紹介したいものを決める。その後、話の構成を確認したり、伝え方を考えたりするなど、『宝物お話会』の準備をしたり練習したりする。</p> <p>③(本時)④ ※丸囲み数字は授業時数 準備したり練習してきたことを生かして、『宝物お話会』を開いたり、学習を振り返ったりする。(その後、「書くこと」との関連も考えられる。)</p>

【授業展開例】

見通す

前の学習を振り返り、取り組むことへの見通しをもつ。



★学校探検で見付けた人や場所や出来事などの宝物についてお話するために、これまでに準備を進めてきましたね。(生活科で個人が好きな場所を探索できる形式の探検を行った後、保健室や給食室など行きたい場所ごとにグループとなり探索できる形式の探検を複数回行った想定。)

- そうそう。みんな探検した場所はバラバラだったから、自分で探検していない場所とか会ったことのない人とかも知りたいってなったんだよね。
- 宝物を紹介するために、前の時間には絵とか写真とかを準備したよね。
- そういえば、どんな順で何を話すといいかもみんなて話したね。
- 理由作戦とか、クイズ作戦とか使うといいよってなった。
- もう準備もバッチリだから、みんなに早くお話ししたいな。

★では、今日はみんなで学校探検で見付けた人や場所、出来事などの宝物をお話する『宝物お話会』を開きましょう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の連続的な学び方を生かして、生活科の学校探検といった身近なことを話題として、話すことができるように単元を構成する。そうすることで、児童にとって想起しやすく学ぶ必然性を感じやすい学習となっていく。

みんなのお話を聞いてみたい!



探検していない場所のこと知りたいな!



『宝物お話会』を開こう!

深める

宝物をお話会を開き、自分の見付けた宝物をお話したり、友達のお話を聞いたりする。



★グループごとにお話会を開きましょう。一人のお話が終わったら感想を伝えたり、質問をしましょう。(お話会は、異なる場所を探検した子供同士3~4人のグループで1回目をを行い、おじゃましますタイムでメンバーを変更しながら3回程繰り返す。)

- わたしの見付けた宝物は、この絵のにかいた保健室の〇〇先生です。保健室を探検したときに「怪我や病気になったら助けてあげるね」って言ってくれて、大好きになったからです。それに学校の中なのに、お医者さんみたいな先生がいてすごいなって思いました。これでわたしのお話を終わります。
- すごい! 誰でも助けてくれるってこと? 私も今度会いにいきたいな。
- 質問なんだけれど、保健室で怪我とか治してくれるんですか。
- そうなんです。保健室には、絆創膏とか消毒液とか怪我を治してくれるお助けグッズがたくさんありました。 ●へえ、そうなんだ!
- ぼくもそのお助けグッズのことを教えてもらったよ。〇〇先生、優しかったよね。

★グループ全員のお話が終わりましたね。それでは、おじゃましますタイムです。グループの中で1人だけ残って、後の人は違うグループの机に動きまわります。そうして新しいお友達と2回目のお話会を開きましょう。

- ぼくの見付けた宝物は、この写真の美味しそうなものを作る場所です。どこだか分かりますか。
- この写真は給食かな? ●ということは給食室のお話ですか。
- 正解は、給食室で作っている給食です。学校にレストランみたいな場所があって、とても驚きました。
- 確かに、幼稚園にはなかったもんね。 ●給食室のことで、ほかに驚いたことはありましたか?
- お鍋とか混ぜる道具とかとっても大きくて驚きました。 ●そんなに、大きいんだね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学び方を生かし、グループごとに身を寄せ合い、円形になるなど、互いの意見が交流できたり表情が見えたりするような学習の環境を設定する。そうすることで、安心して互いの思いや考えが出し合えるようになる。

質問するとお話が繋がっていくね!



友達の話聞いて新しいことが分かった!



振り返る

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

★今日はみなさんが楽しみにしてたお話会でした。どうでしたか。

- みんなこっちを向いて聞いてくれて、質問したり驚いてくれたりして嬉しかった。
- ★そうですね。友達に伝わると嬉しいですね。それに相手を見て質問したり、感想を伝えたりして、お話が繋がっていくと、話す人も聞く人もどっちもとても楽しくなりますね。
- 友達のお話を聞いて、学校のことが分かったし、もっともっとお話ししたくなった。
- ぼくは、音楽室の大きなピアノのお話をしたけれど、〇〇君はそのピアノを弾いてくれた音楽室の先生のお話をしてくれた。同じ音楽室のことで、お話が繋がって行って、そのお部屋のことがよく分かったし、お話ししていても聞いていても楽しかった。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気付きを認め、受け止めながら、話し合いが活性化するための言葉や態度等もクラス全体で共有していくことで、言葉による見方・考え方を養っていく。

幼児期の 遊びを通した学び

と

国語科 書くこと

とのつながり



遊びを通した学び

遠足の体験をかいて…
「動物園楽しかったなあ、象
が大きかった」と印象に
残った動物や周りの様子
をかく中で、動物の名前
や表示などを文字で書こ
うとする。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

印象に残ったことを友達や先生と振り返りながら、パスや絵筆などのいろいろな描画材を使って、かくことを楽しめるようにしています。幼児が絵に表そうとしていることを、言葉に置き換えて伝えます。



遊びを通した学び

お店屋さんごっこで…
「お店の看板をつくろうよ」
「レストランの『し』ってどう
やって書くの？」絵ととも
に文字を書いて看板やメ
ニューを作成する。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

やりたい店をイメージして、必要なものを再現しながら実現に向かえるように、幼児の前で文字を書いてみせたり、伝えたりしています。また、画用紙やペン等はいつでも使えるように整理して置いておき、つくりたいものに合わせて選んで使えるようにしています。



遊びを通した学び

「同じ字があるね！」友達の名札を
見て自分の名前と同じ文字があ
ることに気付き、名札の文字を
真似て書こうとする。



遊びを通した学び

小学校ごっこの中で…
「国語のお勉強、『あいう
えお』って書いてみよう！」ノートに見立てた
紙に自分や友達の名前
を書いたり、知っている
文字や数字を書こう
としたりする。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

小学校との交流活動後、小学校ごっこが始まることを見通して、ランドセルや筆箱、ノートをつくれるような素材を用意したり、必要なものを幼児と一緒に考えてつくったりして、小学校に期待がもてるようにしています。



遊びを通した学び

宝の地図で探検だ！
「あっちに、宝箱があるよ！」宝の
地図をかいて探検ごっこ。発見
した宝を地図にかきながら、文
字や記号に出会う。



遊びを通した学び

私のスマートフォン！
「スマホつくってるの！」スマート
フォンを画用紙や空き箱でつく
る中で、文字や数字アプリの絵
をかくことを楽しむ。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 数量や図形、標識、文字への関心・感覚
- 思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「社会生活との関わり」「言葉による伝え合い」などの姿も見とれますが、ここではあえて「書くこと」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く
- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える
- 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する

幼児期の遊びを通した学び

小学校ごっこを楽しむ中で知っている文字などを書いている。
お店屋さんごっこに必要な看板やメニューを絵と文字でかいている。

目標 (知識及び技能) 身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。 (思考力、判断力、表現力等) 自分の思いや考えなど表現したいことが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	①(他教科との関連) 図画工作科で複数の材料を使ってオリジナルキャラクターをつくって遊ぶ。	①②③(本時)④ 作成した制作物を主人公にしたお話を書くといった学習の見通しをもつ。物語を書くために、「既習知識や経験を生かして出来事を考え、「はじめ・中・終わり」のまとまりごとにお話の内容を膨らませる。	⑤⑥⑦⑧⑨ 出来事の様子が詳しくなるようにお話を書いたり、書いたお話を読み直し、間違いないか確かめたりする。	⑩⑪ ※丸囲み数字は授業時数 書いたお話を友達と読み合って感想を伝え合ったり、学習を振り返ったりする。
	学習計画			

【授業展開例】

見通す

前時を振り返り、取り組むことへの見通しをもつ。



★作家のみなさん、図画工作の時間に自分で考えてつくったオリジナルキャラクターが主人公になるお話づくりは順調に進んでいますか？

- うん、この前は「はじめ」でどんなことが起こるか考えたから、今日は「中」でどんなことが起こるか考えたいな。
- 友達とキャラクターを動かしながらお話を考えたのだけれど、途中で終わったから、その続きからやりたいな。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫
 幼児期の連続的な学び方を生かして、図画工作で制作したものを様々な場で自由に動かしながら物語を考えることができるようにする。



お話の中でどんな出来事が起こるか考えよう。



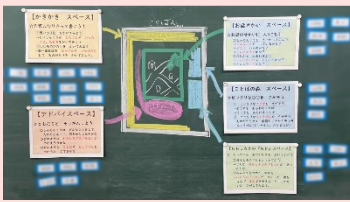
★今日、自分が取り組むことを決めましょう。決めたら、黒板に自分のネームプレートを書いて活動を始めましょう。

- ぼくは、この前キャラクターを動かしてお話ができってきたから、まずはどんなことが起こったか、書いてみようかな。
- 「中」で、友達と遊んでいて仲直りできるようにしたんだ。今日は、「終わり」の出来事を考えてみようかな。似たようなお話がないか、調査スペースで絵本を探してみようかな。
- 「はじめ」で森に行くってことは決まったけれど、次はどうしようかな。友達に相談してみよう。

友達と話すとよいアイデアが思い付くよ！



★活動(お話世界)スペース、相談(アドバイス)スペース、執筆(かきかき)スペース、調査(言葉の森、面白さの素)スペースなど分けて、取り組むことができるようにする。



深める

制作物を動かしたり、友達に相談したりして想像を広げ、まとまりごとにお話の出来事を書く。



★(活動スペースでキャラクターを動かしている子に)どんなお話ができそうですか。

- 私のキャラクターは海に来ていて、泳げるようになりたいなって練習しているの。
- そうそう。私は「がんばって」って応援している役をやってるの。
- でね、応援してくれて泳げるようになって二人は仲よくなるの！

★二人で話し合って、すてきなお話ができそうですね。二人も、似たようなことがあったのかな。

- うん、鉄棒で似たようなことがあったの。そのときも友達が応援してくれたんだ。とっても嬉しかったの。

★あなたと同じように、キャラクターもとっても喜んでいるのかもしれないね。

- そっか。じゃあ、そのことも出来事のカードに書いてみようかな。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫
 子供の学びの特徴として、情報の収集や内容の検討、構成の検討が行きつ戻りつすることが考えられる。そこで、幼児期の学び方を生かし、学習内容や学習進度を自己選択・自己決定できるようにする。その際、友達と自由に相談できたり、具体的に操作できたりするコーナーを設置する。



振り返る

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。



★今日はどこまで進みましたか。最後に困りごとがあったらみんなで確認しましょう。そして、次やることを考えましょう。

- 動かしていくと出来事がたくさん生まれちゃって、頭がゴチャゴチャになっちゃいました。
- そうしたら次は出来事を書いたカードを順番に並べてからキャラクターを動かして確認したらいいんじゃない。
- 私も「終わり」までカードに書けたから、順番通りキャラクターを動かしてみても、出来事を付け足して、もっと面白くしてみたいです。

困りごとを相談したいな



幼児期の遊びを通した学び

と

国語科読むこと

とのつながり

※幼児期の遊びを通した学びのページは、一つにまとめております。



遊びを通した学び
読み聞かせの場面で…
「先生、もう一回読んで！」
絵本や紙芝居の読み聞かせの経験から、言葉の響きやリズムの面白さを感じ、自ら言葉に出して読むことを楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の実態や興味・関心に応じた絵本を読み聞かせたり、絵本コーナーに用意したりして絵本に触れることを楽しめるようにしています。



遊びを通した学び

登園時の様子…
登園後、保育室の表示を見たり読んだりして、「今日は、みんなでドッジボールだ。やったあ！」と学級での活動を楽しんでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一日の予定を確認したり見通しをもったりできるよう、一日の予定を絵表示と文字で掲示しています。絵の横に文字で示すことで、文字の役割に気付いていきます。



遊びを通した学び

タブレットを見ながら…
「先生、ここになんて書いてある？」
知りたい気持ちから、読めない文字を先生に尋ねている。



遊びを通した学び
ダンゴムシを飼い始めて…
「ダンゴムシは何を食べるのかな？」と興味をもって図鑑を見たり、知っている文字を声に出して読んだりしている。

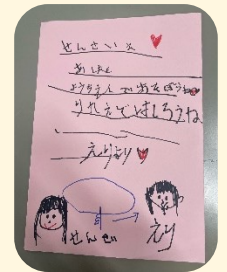
主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

知りたい気持ちに寄り添い、図鑑と一緒に調べたり、書かれていることを読んだりします。幼児のすぐ隣で保育者が声に出して文字を読むことで文字と音声合い、文字への興味・関心が広がっていきます。



遊びを通した学び

何を書いているのかな…
「なんて書いているの？」一緒に遊んでいる友達の書いている文字に興味をもち、読んだり聞いたりしている。



遊びを通した学び

手紙のやり取りで…
「先生、お手紙あげる！」と先生に渡した手紙を読んでもらったり、自分で読んだりしながら、手紙に込めた思いを伝えている。



幼児教育を通して育まれた10の姿

- 数量や図形、標識、文字への関心・感覚
- 言葉による伝え合い

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「豊かな感性と表現」などの姿も見えて来ますが、ここではあえて「読むこと」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。



小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える
- 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える

幼児期の遊びを通した学び

絵本などの読み聞かせを通して、言葉の響きや面白さを感じている。
自分や相手の書いた文字に興味をもち、読んだり聞いたりしている。

目標	(知識及び技能) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 (思考力、判断力、表現力等) 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
学習計画	① 教師の範読を聞いて内容の大体を捉え、学習計画を考える。 ②③ 目的とする活動を行うために、登場人物の確認や、会話文の話者を特定するなど準備する。 ④⑤⑥(本時)⑦ 劇遊びをより楽しむために全体で話し合ったり、個別に工夫を考えたり、音読練習をしたりして場面の様子や登場人物の行動を豊かに想像する。 ⑧ ※丸囲み数字は授業時数 最後に劇遊びを行った後、学習を振り返りをする。

【授業展開例】

見通す

前時を振り返り、取り組むことへの見通しをもつ。



- ★「おおきなかぶ」の劇遊びに取り組んできましたね。みんなが目標にしていた「本物のおおきなかぶの世界」みたいになってきましたか。
- 言葉をよく見たら、おじさんの動きが言葉とそっくりになってきたよ。
 - 最初は、スラスラ読めなかったけれど、繰り返し練習するうちにどんどん上手に読めるようになってきた！
 - でも、まだかぶを抜く人を呼びにいくときの台詞や言い方を工夫したいな。



★では、今日もみんなで劇遊びした後に、一人ずつ取り組みたいことを決めて、もっと「本物のおおきなかぶの世界」に近付くように取り組んでいきましょう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫
教師の指導性と子供たちの思いや願いが重なるように、活動や環境の中に授業のねらいを埋め込んでいくようにする。劇遊びという活動を行うことで、子供たちは登場人物の具体的な行動や会話(話者の特定)、場面の様子に自然と着目していき、物語の登場人物や主な出来事、結末などを捉えることができる。それは、本単元で育みたい資質・能力と直結する。

工夫を考えて、取り組もう！

- 私は、おじさんがどんな表情をしているか考えてみたい。
- ぼくは、「うんとこしょ」の台詞を友達と練習して力いっぱい読めるようにしたい。



深める①

演じる役とお客さん役に分かれて劇遊びを行い、工夫したいことを話し合う(全体)。



- ★(劇遊びに取り組んだ後)見ていたお客の皆さん、演じていた劇遊びはどうか。また、もっと工夫してみたいポイントはありましたか。
- この前みんなで考えたことを生かして、おじさん役の〇〇くんが「あまいあまい…」の読み方を工夫しておじさんそっくりでした。
 - かぶができたとき、もっとおじさんが喜んだ方がいいと思う。
 - 前、〇〇さんがかぶの種は小さいってことを発見してくれたでしょ。だから、「あまいあまい…」の台詞のとき、小さな声でもっと優しく言ってあげたらいいと思う。

みんなで力を合わせるぞ！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫
幼児期の学びを生かして、身体を動かしながら実感を伴って言葉を理解したり、想像を広げたりできるようにする。

深める②

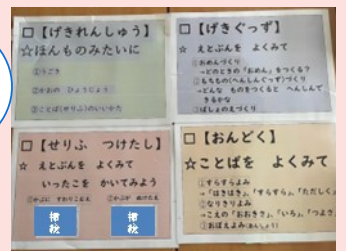
思いや願いを実現するために、自分で取り組みたいことを決めて取り組む(個別)。



★それでは、一人学びの時間です。「本物のおおきなかぶの世界」に近付けるために、どんなことに取り組みますか。自分が選んだ活動場所に行って取り組みましょう。(4時間で4つの活動を用意し、どの活動から取り組むか選べるなど学習順序のみ自己選択の機会を設けることもできる。)

納得いくまでとことんやりたい！

- もっと、おじさんになりきれるように、台詞を音読練習したいです。
- 劇遊びを録画したのを見て、工夫するポイントを探したいです。
- かぶが抜けた後の続きのお話を絵と言葉でかいてみたいです。
- もっと台詞を増やしたいし、劇グッズをつくりたい。
- 劇練習をしたいのだけど、音読チームと一緒にやってみると、本番みたいに見えるかも。誘ってみようかな。
- すてきな続きのお話ができたから、みんなに紹介して劇遊びでもやってみりたいな。



振り返る

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

- ★ 今日工夫を考えて、取り組めましたか。みんなにお知らせしたいことがある人はいますか。
- 私は、今日、孫を呼んでくる時のおばあさんと孫の台詞を考えたので、次の劇遊びのときに使ってほしいです。
 - ぼくは今日、最後の「うんとこしょ…」って台詞のときのおじさんの表情を考えてみたのだけれど、それを次の劇遊びの前にみんなに見てほしいです。

幼児期の遊びを通した学び

ダンゴムシに興味をもち、虫の図鑑を見たり読んだりしている。
一日の予定表を見て順序だてて書かれた文字を読み、予定を確認している。

目標	<p>(知識及び技能) 文の中の主語と述語の関係に気付くことができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。</p>
学習計画	<p>①(本時) 教師の範読を聞いて内容の大体を捉え、学習計画を考える。</p> <p>②③④⑤⑥ 本文のそれぞれの内容について、「問いと答え」を中心に捉え、クイズにまとめる。</p> <p>⑦⑧⑨ 「問いと答え」の文章の形式を生かして、他の本で調べたり他教科・領域での学習を生かしたりして〇〇クイズをつくる。</p> <p>⑩ ※丸囲み数字は授業時数 完成したクイズを互い出し合った後、学習を振り返る。</p>

【授業展開例】

見通す

本時で取り組むことへの見通しをもつ。

- この前まで、お話を読んで劇遊びをしたよね。
- そうそう。次の教科書に載っているのはどんな物語かなあ。
- 楽しみだね。また劇遊びしたいな。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に様々な絵本や図鑑を読み聞かせてもらった経験を生かして、教材の提示方法を工夫する。今回は単元の目標と教材の特徴、単元の主たる活動が合致するように、クイズのようにしながら、読み聞かせをしている。

★それでは、新しく学習する「くちばし」を読んでみるね。
(例示は、問いと答えの文と簡単な説明が載り、問いと答えの応答関係を学ぶのに適した教材である。それぞれのくちばしだけの挿絵を黒板に掲示して、クイズのように読み始める。答えの文を読むとき、挿絵に対応させて写真も貼っていく。)

- あれ、何だかおかしいなあ。
- 今までは絵だったけれど、鳥の写真が載っている。



深める

これまで学習した文章との違いを考え、特徴を捉える。

★あれ、みなさん何だか「あれっ」て顔をしている人が多いね。どうしたのですか。

- だって、今までの物語と違うよ。
- そうそう。全然違う。

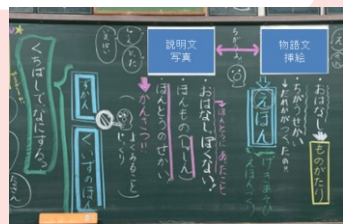
★え、そう？ でも、前の物語でも森の動物たちが登場しましたよね。今回の鳥たちも一緒じゃないの。

- 全然違うよ。前の物語の動物たちはお話の世界だから。
- お話っぽくないんだよ。これは、本当にあったことだから。
- 見てごらん、絵じゃなくて、写真でしょ。今までは絵だったのに。だから本当の世界のことなんだよ。
- 観察って感じなんだよな。観察ってよく見て説明することなんだけど。
- きっとこれは図鑑なんだよ。図鑑も写真があるし、説明もあるでしょ。
- クイズ図鑑とかクイズの本にも似ていると思う。

★そうか。今まで学習してきた物語とは違うんですね。実は、みんなが気付いたように、今回の「くちばし」のように何かを説明した文章を説明文と言います。

- そうなんだ。だから今までの物語と違うぞって思ったんだ。
- じゃあ、劇遊びじゃなくて、違うことがしてみたいね。

★確かに、物語ではないから、また違った面白い学習ができそうですね。



何かへん!?
〇〇さんはどう思う?!



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に様々な絵本や図鑑を読んだり、読み聞かせてもらったりした経験を生かして、文種の違いを考えられるようにする。

取り組みたいことを考えよう！

広げる

この単元で取り組みたいことを考えたり、意見を出し合ったりして決める。

★それではみなさんは、どのようなことに取り組んでみたいですか。

- 見たことも聞いたこともない鳥が出てきて面白かったから、いろいろな鳥について調べたいな。
- みんなが図鑑って言ってたから、自分でも鳥のくちばし図鑑をつくらしてみたいな。できたら誰かに見てもらいたい!
- クイズっぽくて、考えるのが面白かったから、真似して他のクイズもつくらしてみたい! 学校クイズとかも面白そうだよ。
- クイズだと、これまでも自分で考えたことがあるからできそうだね。
- 教科書に載っている鳥以外のクイズもつくらしてみたいな。
- クイズを集めたら図鑑風になっていいかもね。

★では、次から意見の多かったクイズづくりをしていきますか。

- やってみよう!
- 楽しみだね。たくさんつくるぞ!
- 最初は教科書を見ながら真似していくといいと思う。

★これからの学習もとっても楽しみです。では次は、教科書を見て〇〇のクイズをつくらっていきますよ。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学び方を生かして、子供たちの「やってみよう!」という思いや願いを可能な限り、学習に生かしていくようにする。

どれも楽しそうで迷っちゃう!

お話

神戸市教育委員会事務局学校教育課

朝岡 悦子先生

兵庫県加古郡播磨町立蓮池小学校

松井 恵子先生

算数科の特徴

算数科は、実社会との関わりを意識し、「数学的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育む教科です。

幼児は、遊びや生活の中で、数学的な見方・考え方に触れています。数学的な見方・考え方に触れるといっても、難しく考えることはありません。幼児の遊びや生活の中でよく見られる「全部でいくつある?」「誰のが多い?」「1箱に5個ずつ入れよう」といったやり取りは「数と計算」につながる視点です。「坂道でボールが転がる」「三角の積み木の上には積めない」といった体験を通して、「図形」の特徴を体得していきます。

幼児期に遊びの中で具体物を操作しながら多様な体験を積み重ねていくことが、小学校以降の数量や図形などについての基礎的・基本的な概念形成や性質などの理解の大きな支えとなります。そして、幼児期の一つ一つの体験が関連性をもち生かされていくことで、小学校での各教科等の確かな理解につながっていきます。

幼児期の遊びを通した学び

心を動かしながら身の回りのものに関わり、必要感をもって数えたり量を比べたり、様々な形に組み合わせたりして遊ぶことを通して多様な体験を積み重ねる中で、数や量、形などの感覚を身に付け、自らの遊びや生活に活用していきます。

具体的には…

- 収穫した野菜の大きさや集めた木の実の量などに驚き、思わず数を数えたり、大きさを比べたり、友達と同じ数ずつ分け合ったりしている
- 積み木や空き箱、木の枝など、それぞれの形の特徴を捉えながら見立てたり組み合わせたりして、イメージに合わせて形をつくっている
- 時計や携帯電話などの身近な道具に憧れをもち、つくったり遊びに活用したりしながら、生活に必要な時刻や時間に対する感覚をもったり、数字などに親しんだりしている

幼児期の 遊びを通した学び

と

算数科 数と計算

とのつながり



遊びを通した学び

友達と一緒にダンス…
「もっとたくさんの友達と一緒にしたいな」「3人と3人で6人」と、グループをつくる遊びを楽しみながら、人数が倍や半分になるという感覚を身に付けている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

大好きな友達と手をつないでグループをつくる遊びでは、友達と関わりたい気持ちを大切に育みます。何人グループになっているか、何人ならちょうどぴったりになるのかということを考える中で、数の感覚も身に付けていきます。



遊びを通した学び

竹馬に乗れたよ…
「乗れた！乗れた！」「がんばれ！1、2、3、4…」と乗れたことを友達と喜び合う。さらに何歩いけるようになりたいと、目標をもったり意欲が高まったりしている。



遊びを通した学び

花がいっぱい落ちている…
「いっぱい集めて遊ぼう」「バケツだとすぐにいっぱいになる」と多いということが感覚的に分かり、「トラックならいっぱい運べる」と身近にあるものを使い、工夫して遊んでいる。



遊びを通した学び

ジャガイモの収穫…
「みんなで分けよう」「何個あるのかな」「10個ずつ数えてみよう」とたくさんあるジャガイモを10個単位にして数える方法に気付いた。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

友達と等分するという必要感をもって、数量に関して身に付けた感覚を用いて、自分たちで相談しながら進めている様子を見守ります。皆で考えてまとまりで数えることのよさに気付いたことを価値付けます。



遊びを通した学び

リレーどっちが勝つかな…
「1番は3点、2番は2点、3番は1点」「1回戦は3位だけど、2回戦で1位になれば勝てるよ」と得点板を使いながら点数を入れていくことで、同点になったり、逆転できたりすることに気付いている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

得点板を用意することで、得点が増えていくのが見て分かりやすく、勝敗を楽しみながら遊びを進めることができます。得点を競い合うことで、もっとがんばって走ろう、勝つための作戦を考えようという意欲にもつながっています。



遊びを通した学び

ソラマメを分けよう…
「みんな一つ取って」「二つ目…」と均等に分けるために、声に合わせてそれぞれ一つずつ取っていく方法を考えて実行している。

幼児教育を通して育まれた10の姿

●数量や図形、標識、文字への関心・感覚

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「健康な心と体」「自立心」「協同性」「豊かな感性と表現」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「数と計算」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

●思考力の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

●数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考える力

●よりよく数えたり比べたりする活動の中で、数のまとまりに着目し、10のまとまりをつくることや10といくつとみることなど、十進位取り記数法の素地となる力

幼児期の遊びを通した学び

たくさん拾ったどんぐりを並べて大きな数を実感している。
「20より多いかも」と量感をもちつつ、10ずつ分けて、数えようとしている。

目標	<p>(知識及び技能) 10のまとまりをつくって数える活動などを通して、十を単位として数の大きさを見ることができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 数のまとまりに着目し、数の大きさの数え方や比べ方を考える。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 具体物をまとめて数えたり、等分したりして整理し表そうと試行錯誤する。友達の意見を聞き、新たな疑問をもつ。</p>
学習計画	<p>①(本時) 十を単位とした数の見方を養う。</p> <p>②③④ 2位数の表し方について知り、数を単位のいくつ分と捉えたり図や具体物で表すことで数の大きさについての感覚を養う。</p> <p>⑤⑥⑦ 100について知り、2位数の数の構成についての感覚を豊かにする。</p> <p>⑧⑨ ※丸囲み数字は授業時数 100を超える数で120程度までの簡単な3位数について理解を広げる。</p>

【授業展開例】

経験を想起

身の回りにあるものの個数に着目し、幼児期の学びを振り返りながら個数の数え方に関心をもつ。



★生活科で育てたアサガオのタネを、新入生にプレゼントしたいけど自分の袋の中のアサガオのタネは、いくつあるのかな？

- 袋の中に入っているのは、数えられないな。
- 10より多いと思う。



★園の生活の中などで、10より多い数を数えたことがありますか？ うまくいった？ 難しかったことは、なかったかな？

- どんぐりをいっぱい拾ってきて並べたことがあるよ。
- 10ぐらいならすぐ数えられたけど、多いと大変だった。

★そうなんだ、多いと難しいよね。先生も多いと数え間違えることあるよ。でも、10なら間違えずに数えられたのね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における数を数えた経験の中で、できたことと難しかったことの両方を想起させる。難しかったことに大いに教師が共感し、問題意識につなげることで、算数科としての新しい見方の発見をより際立たせる。

タネは いくつ あるかな？

問いを焦点化

どのように数えると「確実に」数えられるか、考える。



★袋の中のタネは10より多いかな？ 何個か分からないね。

- 分かる！だって、11、12って数えたらすぐ分かるよ。
- 詳しい数を早く知りたい！
- 間違えることを少なく、確実に数えたい。
- 10ずつまとめていくと、分かりやすい。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「数えられそうなの？」と教師は常に問いかける話し方で、幼児期の学び方を生かした方法を児童が選択できるようにする。常に児童と合意形成を図る声掛けで、児童の主体性を引き出していく。

やってみる

各々の数え方で、タネの個数を調べる。



★確実に数えられる方法を、みんなで見付けようね。どうやって数えたのか分かるように、先生がみんなの様子をタブレットの動画で撮っておきますね。それと、机の上のタネは、「こうやって数えたよ」と後でお話しできるように、袋の中に戻さないでね。

- ぼくは、1、2、3、4…11、12と並べながら、続けて数えたよ。
- 10のまとまりが、3つありました。



試行を吟味

数え方を話し合う。よい点と課題について、全体共有する



★みんなよく数えられましたね。自分のやり方でよかったと思うことと、ちょっと難しかったと感じたことと両方を教えてくれる？ 悩んだことは、大発見につながるんだよ。悩みも教えてほしいな。

- 1、2、3…と数えていると本当にその数なのか、確かめられなくて困る。
- 10のまとまりをつくっておくと、後で見ても分かりやすいね。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

数えている様子を動画で見せるなど、10のまとまりをつくっている場面と1、2、3…と数えている場面を比較させながら、常に一人一人の気付きを拾い上げ、数学的な見方・考え方を養っていく。

発見する

10でまとめるよさについて共有する。



★まっすぐに並べた写真と、10のまとまりにして数えていた写真を黒板に貼り（もしくは、大型モニターに映す）ましたが、どうですか？ どちらが、30個あるってすぐ分かりますか？

- 10ずつの方が写真では分かりやすい。
- 写真がなくても、数字で表せるはず。

★困ったこともあったようですね。写真を見せなくても、数が分かるようにしたいね。



幼児期の 遊びを通した学び

と

算数科 図形

とのつながり



遊びを通した学び

そうめん流しをつくりたいけど…「**全然斜めにならないよ**」「**タイヤを増やしていったら斜めになるよ**」と同じ高さのものを個数を変えて積んで並べると、傾斜ができることに気付いている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

積んだり並べたりすることができるよう、同じ形や大きさの様々な遊具や用具（タイヤ、バケツなど）を準備しておきます。幼児が自由を選んで試す過程を見守りながら幼児の考えを捉え、発見や気づきに共感します。



遊びを通した学び

ぼくの帽子がほしい…「**どうすれば頭の大きさとぴったりの穴が開くかな**」と試行錯誤しながら、形に合わせて線をかき、切る方法に気付いている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

遊びの中で思うように進まないことに、友達と一緒に試行錯誤しながら向かっていく姿を大切に見守ります。思い付いた方法を言葉に表しながら試し、うまくいったりいかなかったりする過程で気付いていることを読み取り、保育者の援助や環境の構成に生かします。



遊びを通した学び

お片付け…「**きれいにぴったりに並べたい!**」と平らに積めるように形を予想しながら積み木を重ねている。

遊びを通した学び

竹馬を並べたら…「**ロケットみたいになった**」「**みんなで宇宙に出発だ!**」とつないだり並べたりするといろいろな形になることが分かり、イメージを膨らませている。



主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

自分たちで考えたことが実現できるように見守ったり「面白いこと考えたね」と声を掛けたりすることで、遊びをつくりだす楽しさを感じています。



遊びを通した学び

お城をつくらう…「**三角は屋根になるよ**」「**ここは門にしよう**」と形の特徴を生かしながら遊んでいる。



遊びを通した学び

クリスマス飾りをつくらう…「**四角をチョキチョキ切ると三角がいっぱいできた**」「**つないだらツリーになった**」と画用紙などを使って四角や三角の形に親しんでいる。

幼児教育を通して育まれた10の姿

●数量や図形、標識、文字への関心・感覚

※これらの活動では他にも「健康な心と体」「協同性」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」などの姿も見られますが、ここではあえて「図形」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

●思考力の芽生え

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして表現する力

幼児期の遊びを通した学び

画用紙をびったり折って等長を感じ、切って三角を見いだしている。
積み木をまっすぐ並べて、2直角で直線をつくっている。

目標	(知識及び技能) 三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角形について知る。
	(思考力、判断力、表現力等) 図形を構成する要素に着目し構成の仕方を見るとともに身の回りのものの形を図形として捉えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 正方形や長方形、直角三角形を生活の中に見だし、生活に利用しようとするすることができる。
学習計画	①(本時) 三角形と四角形を仲間分けし、三角形と四角形の特徴を捉える。
	②③ 直角を知り、長方形・正方形について知るとともに、性質について調べる。
	④⑤ 直角三角形をつくり、直角三角形を知り、性質を調べる。習った図形の作図をし、性質への理解を深める。
	⑥ ※丸囲み数字は授業時数 身の回りから長方形、正方形を見付けたり、色紙を切って敷き詰めたりして、直角を2つ並べると直線になることを実感的に理解する。

【授業展開例】

経験を想起

様々な形のパズルで新しい形をつくることで、図形の構成に関心をもつ。



- ★園の中で、積み木で遊んだことはあるかな。どんなことをして遊んでいたかな？
 - お家をつくったよ。三角と四角の積み木でつくったよ。
- ★今日はこのようないろいろな形のパズル（正方形、長方形、平行四辺形、台形、四角形と正三角形、二等辺三角形、直角三角形）を組み合わせて新しい形をつくりたいと思うんだけど、できそう？
 - 積み木のときと同じように、三角が屋根で四角とびったり合わせて家の形になるよ。
 - 三角2つで四角になるよ。幼稚園の時、三角の積み木を2つ合わせて四角にしたよ。
 - え？三角2つで四角になるの？本当かな。

友達の形づくりを自分でもできるかどうか試してみたい！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の見立て遊びを想起させ、様々なものを三角形と四角形でつくる。生活の中で形を見付ける視点づくりにつなげていく。

問いを焦点化

三角と四角の分類の仕方について話し合い、図形の特徴を見いだす。

- ★2つの袋に片付けます。同じ仲間に分けたいんだけど、どのように分けたいかな？
 - 三角みたいな形と四角みたいな形に分けたいと思う。

三角や四角は どんなかたち かな。

- ★どう？三角と四角の2つの仲間に分けられそう？
 - 分けられる！だって、とんがっているところが3つと4つで、分けられる。
 - 三角は周りが3本、四角は4本だよ。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に積極的に関わりを楽しむ中で児童はものの性質に気付いている。その直感を大事にし、根拠を言語化させることで、構成要素への着眼点を顕在化させる。

やってみる

分類した後、図形としての三角形、四角形の定義と直線、辺という用語を知る。

- ★周りが3本と周りが4本で分けてみよう。
 - 線が斜めでも（平行四辺形）周りが4本だから、4本の仲間がいいだね。
- ★3本の直線で囲まれた形を三角形、4本の直線で囲まれた形を四角形と言います。角の数はいくつでしょう。
 - 直線と同じ数。
- ★三角形、四角形の直線のところを「辺」、角の点を「頂点」と言います。



試行を吟味

曲がった辺の三角形や角にすき間のある四角形も含まれた数種類の図形から、三角形と四角形を見付け、その根拠を構成要素を使って説明し、三角形と四角形の相違点を見付ける。

- ★では、次に、これらも三角形と四角形に分けられますか？
 - あれ、ここが直線ではないから、三角形ではないよ。
- ★「ここ」というのは、「辺」のことですね。辺という言葉を使って説明してみよう。
 - これは、辺が3本だけれども、直線ではないので、三角形ではないです。
 - これは、すき間があいていて、頂点になっていないので、四角形ではないです。
- ★では、三角形と四角形はどれかな。
 - これは三角形です。辺が3本の直線で、頂点も3つだから、三角形です。
- ★辺と頂点の数を見れば、すぐに三角形と四角形が見付かるんだね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

言葉による伝え合いの経験に立ち、算数科で学習する用語の「辺」「頂点」という言葉を使って話すことで、数学的な見方・考え方を伸ばさせる。

発見する

身の回りから三角形や四角形を見付けようとする中で、次時に扱う直角への関心を引き出す。

- ★みんなの周りを見てごらん。三角形や四角形はありますか？
 - 教科書は四角形！なぜかと言うと、頂点が4つだから。
- ★敷き詰められているタイルとずれているタイルマットの写真です。比べてみて、感じたことはありますか？
 - ずれているところが気になる。この辺とこの辺をびったりつけると、まっすぐになるよ。
- ★どうしてまっすぐ並ぶと分かるの？辺の長さや角の形について明日は調べていこう。



幼児期の遊びを通した学び

と

算数科測定 (身の回りのものの大きさ)

とのつながり



遊びを通した学び

ジュース屋さんですよ…
「こぼれちゃった」「いっぱい入れたい」「ぴったり入れた」と、大きい容器にぴったりの水を入れようといろいろな容器を使って試している。水をこぼさず、たくさんの量を一度に注げる方法に気付いている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

水を汲んで入れ替えることを繰り返し楽しむ姿に、満足いくまで自分のペースでやってみる時間と場を確保して寄り添います。一人一人の「成功した」という喜びを、保育者も一緒に味わいます。



遊びを通した学び

ヒマワリが咲いたよ…
「どっちが大きいかな」「背比べしてみよう」と自分と比べてみることでヒマワリの大きさを実感し、ヒマワリの成長を友達と一緒に喜んでいる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児が実際に自分の目で見たり、手で触れたりする体験を大切にしています。自分と大きさを比べることで、育ててきたヒマワリの大きさを実感しています。その嬉しさや喜びに共感することが、幼児の次の遊びへの意欲になっています。



遊びを通した学び

こいのぼりと一緒にお休み…
「こいのぼりって大きいね」「何人一緒に寝られるかな」と遊びながら長さや広さを感じている。



遊びを通した学び

セミを捕まえたい…
「届かみから、もっと長い綱がいる」「タイヤに乗ったらどうだろう」と何とかしてセミを捕ろうと、いろいろなものを使って、高く、長くすることを考えている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

やりたいことに向かって、身の回りにあるものを使って工夫できるように、安全に手に取れるものや大きさや長さの違うものを日頃から用意し、用途に応じて幼児が選んで使えるようにしています。



遊びを通した学び

お芋のついでで冠をつくらう…
「私がつくってあげるね」「じっとしていてね」とぴったりの長さにしようと友達の前につるを当てて測っている。



遊びを通した学び

ジャガイモを運ぼう…
「たくさん取れたね」「重いから一緒に運ぼう」「みんなで持てば軽くなったよ」と重さを感じたり、友達と力を合わせて持つと軽く感じたりすることに気付いている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

●数量や図形、標識、文字への関心・感覚

●思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見られますが、ここではあえて「測定(身の回りのものの大きさ)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力
- 直接あるいは間接的に大きさを比べる活動を行い、大きさの比べ方を見いだしたり大きさを表現したりする力

幼児期の遊びを通した学び

ヒマワリの高さと自分の背を比べたり、イモのつるを頭の周りにまいたりして、長さを体感する。
小さな容器で水を汲んで大きな容器に入れたり、こいのぼりと自分の幅を比べたりして、量を体感する。

目標	<p>(知識及び技能) 長さ、広さ、かさなどの量を具体的な操作によって直接比べたり、あるものの大きさを単位としてそのいくつ分で表現したりできる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 身の回りにあるものの特徴に着目し、比べ方を見いだすことができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 具体的操作をしながら量に関わりをもつとともに算数科に関心をもつ活動を通して、日常場面と算数科の学習をつなげる。</p>
学習計画	<p>①(本時) 長さの意味、比べ方(直接比較)を理解する。</p> <p>②③④ 長さの比べ方(間接比較)、任意単位による測定を理解する。</p> <p>⑤⑥⑦ かさの意味、比べ方(直接比較、間接比較)、かさの任意単位による測定を理解する。</p> <p>⑧⑨ ※丸囲み数字は授業時数 広さの意味、比べ方(直接比較)、任意単位による測定について理解する。</p>

【授業展開例】

経験を想起

身の回りにあるものの長さに着目し、幼児期の学びを振り返りながら長さの比べ方に関心をもつ。



- ★サツマイモのつるでリースをつくってお家の人にプレゼントしよう。自分のリースもつくりたいね。このつると同じ長さでつくりたいね。
 - これとこれは同じ長さかな。
 - 曲がっているから長さが分からないよ。
- ★園などでは、どのように長さを比べたことがありますか？
 - 長さ比べをしたことがあるよ。
 - 縄跳びは友達に端を持ってもらったよ。
 - 背中を合わせて背比べをしたことあるよ。
- ★どうして端を持ってもらうとつるの長さが比べられるの？



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における長さを直接比較（ヒマワリとの背比べ等）するときの経験を出し合いながら、比べ方を考えられるようにする。

ながさの くらべかたを かんがえよう。

問いを焦点化

同じ長さを見付けるには、どうしたらよいのか考え、話し合う。

- ★端を持ったら比べられるの？先生やってみるね。（2本のつるの端をそろえずに、たわませる。）
 - 違うよ！端を持ったら、ふたつの端をそろえないと分からないよ。
 - もっとぴんと伸ばさないと、同じなのか長いのか分からない。だって、背を比べるときも、一人が腰を曲げていたら比べられないでしょ。

違うよ！こうやるんだよ！やらせて！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして子供たちが長さを比べる対象や方法を自ら選択したり、試行錯誤したりできるような学習環境を設定する。

やってみる

実際に、同じ長さを見付ける。



- ★長さを比べるときはどうしたらいいの？
 - ぐにゃぐにゃでは分からないので、まっすぐにします。
 - 途中を持たずに端を持って、端をそろえます。
 - そろえたら、ぴったり同じだと同じ長さ。さきっぽがばらばらだと長さが違う。
- ★端をそろえたり、まっすぐにすると長さが比べられるのですね。やってみましょう。
 - 2本、3本、4本、全部端をそろえて、まっすぐにして並べると同じ長さなのか、違うのか、分かるね。わ！これが一番長い！

ペアやグループで比べっこ！



試行を吟味

さらに別のものの長さを比べ、気付いたことをもとに、新たな疑問をもつ。

- ★プレゼント用の包装紙と箱を選びますが、縦も横も同じ長さのものがいいね。どれがいいかな。
- ★まずは、包装紙を調べよう。縦と横が同じものはどれかな。
 - これは絶対違う。これが同じ長さだと思う。
 - 折り曲げて重ねると同じ長さなのかどうか分かるよ。
- ★縦も横も同じ長さの箱を選ぼう。どれかな。あれ、縦と横は折り曲げて重ねられないよ。
 - 指や腕でどこまでか数えたら？
 - え？ どういうこと？



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気づきを拾い上げながら、クラス全体で共有していくことで、数学的な見方・考え方を養っていく。

発見する

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- ★どちらが長いかわかるには、どのように比べたらよいでしょうか。
 - 端をそろえて比べる。
- ★次の時間は、この箱の縦と横のように、折り曲げて並べられないものはどうするか考えてみましょう。今日は振り返りに、どうやって比べられるか、予想を書いてみてね。



幼児期の 遊びを通した学び

と

算数科 測定(時刻)

とのつながり



遊びを通した学び

お家ごっこ…
「お家には時計があるね」
「3時ですよ～」と時計をつくり、お家ごっこを楽しんでいる。時計が生活の中でとても身近なものになっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

身の回りにある生活に必要な様々なものをごっこ遊びに取り入れています。大人が使う時計や携帯電話などに憧れをもち、それを使ってみたいという気持ちが強いため、それらしくつくって遊べるように扱いやすい材料を用意しておきます。



遊びを通した学び

パンを焼きますよ…
「しばらくお待ちください」
「チン！できました」と電子レンジをつくり、「これくらいの時間」と自分の時間の感覚で遊びを進めている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児が楽しんでいることに合わせて、本物の電子レンジのように実際にピピッと音が鳴るタイマーを出してみたことで、より本物らしく遊びが展開していきます。幼児が生活の中で捉えている時間の感覚が、遊びに生かされます。



遊びを通した学び

時計を見てみよう…
「長い針がカタツムリになったからお片付け～」と時計の数字に対応した絵を見ながら、幼児が見通しをもって生活している。



遊びを通した学び

今日は何日かな…
「おはようございます」「今日のシールは何にしようかな」と毎朝の活動の始まりを意識しながら出席シールを貼り、園生活を始めている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

シールを貼るのにカレンダーや掲示を見ながら「今日は何日」「何曜日」「今日は寒いね」と、季節や日時、曜日を意識したり、「明日は何があるのかな」など生活の流れを感じて楽しみにしたりできるように働きかけています。



遊びを通した学び

早寝早起きしよう…
「くじられっしやで寝ないと元気がでないよ」と、幼児が「9時」と「くじら」を結び付けて捉え、健康な生活を送るための時間を意識し始めている。



遊びを通した学び

誰が一番長く回るかな…
「よーいどん」「回って～」とどれくらい長い時間回るか競争をしながら、秒の単位に関心をもつきっかけになっている。



幼児教育を通して育まれた10の姿

- 数量や図形、標識、文字への関心・感覚
- 健康な心と体
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見られますが、ここではあえて「測定(時刻)」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。



小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 時刻を表す単位に着目し、日常の中で時刻を読んだり、時刻と生活を関連付けたりする力

幼児期の遊びを通した学び

時刻と生活が密接に関わっていることを感じている。

目標	(知識及び技能) 日常生活の中で時刻を読むことができる。
	(思考力, 判断力, 表現力等) 時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けることができる。 (学びに向かう力, 人間性等) 時計の観察や操作を通して、時刻を表す単位に着目し、時刻と日常を関連付けようとしている。
学習計画	①(本時) 時刻を表す単位に着目し、時刻の読み方を知る。
	② 何時、何時半を使って、自分の生活を振り返り、時刻と生活を関連付ける。

※丸囲み数字は授業時数

【授業展開例】

経験を想起

生活のリズムを想起する。



- ★園での生活の中で、時間を決めて遊んだり、お昼を食べたりしていましたね。時間は時計で分かります。教室にもあるよ。園の中にもありましたか？
 - 幼稚園の先生がカタツムリのところにきたらお片付けて言った。
 - 幼稚園にあんな時計、あったかなあ。あんまり覚えていないよ。
- ★元気に学校生活を送るためには、早寝早起きが大事です。朝起きる時間と夜寝る時間について考えていきたいのだけれど、だいたい何時に起きていますか分かりますか？
 - 6時に起きてるから大丈夫。
 - お母さんに起こされているから分からないなあ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園でも家庭でも時刻と生活は密接に関係しているが、全く関心のない児童もいる。個々の認識にかなりの差があることを念頭に置いて話題に挙げる。

問いを焦点化

時計を観察し、数字と短針・長針について認識し、何時という単位を獲得する。

- ★何時なのかは、時計を見て分かるようになろうね。先生が起きたのは、この時間です。(6時を指した時計を提示) なんだかいろいろなものが、いっぱいいつているね。何がありますか？
 - 長い棒と短い棒がある。
 - 丸の中に、1から12までの数字が書かれている。
 - 長い棒は12のところで、短い棒は6のところにいるよ。

よく見ると、不思議！ 1から12までなんだ！
発見！ 1と2の間に小さな線もいっぱいだ



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

生活の中で何となく使っていた時計を、改めて観察する時間をとり、どこに着眼するかを明確にする。その際、幼児期の遊びの中の発見と同じようなわくわく感を促すために、小さな発見も取り上げていく。

とけいを よもう。

- ★この棒のことを時計の棒ではなくて「針」と言います。短い針で何時かが分かります。じゃあ、この時計は…12時だね。あれ6時？…どっちでもいいのかな！
 - えー！ どっちでもよくないよー！ 6時だよ。
 - 短い針の方の数字が何時って言ったでしょ。短い針は6だからこれは6時。
 - どっちでもいいなんて、だめだよ。

やってみる

時計に示された何時と何時半の表記の違いに着目する。



- ★では続いて、先生が家を出発したときの時計は… 長い針が、1、2、3、4、5、6… 進んでいって、はい、12でストップ。一周しました。実はね、長い針は、1、2、3、4、5という風に、右へしか回りません。11、10、9と反対に回る時計は壊れています。さて、長い針はぐるっと一周回りました。先生が家を出発したのは何時ですか？
 - 7時です。
- ★学校に着いた時の時計はこれです(…と言って7時半で時計をストップする)。短い針はどこを指していますか？
 - 長い針は6ぴったりだけど、短い針は、7と8の間だけど…。
 - 何時なのかな。長い針が6にぴったりだから6時かな。

試行を吟味

児童用の時計を児童が使いながら、何時半を捉える。

ペアで話しながら何度も時計を動かして、何時半を見付けよう

- ★短い針が7と8の間の時は、7時半と読みます。
 - だって、長い針が半分まで動いているから半分の半なんだよね。
 - え？ 長い針が半分まで動いてるってどういうこと？
 - 動かして試してみよう！ 本当だ！ 半分だ！
 - 半分だから、まだ7時だね。8時にはなってない。だから7時半なんだね。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園における遊びの中の経験を踏まえながら、児童が時計を手に取りながら、納得するまで十分に操作し、何時半という時刻を実感的に理解させたい。

発見する

本時の学習をまとめ、適応問題を解いてみる。

- ★今日も大発見しましたね。今日の発見をまとめてみよう。
 - 時計には短い針と長い針があって、短い針で何時かが分かる。間にあるときは、前の数字で〇時。7と8なら7時。
 - 針は右へしか進まない。
 - 長い針が12のときはちょうど何時。長い針が6のときは何時半。
- ★では、このプリントの時計が何時なのか、または何時半なのか、読んでみよう。明日は、この力を使って、自分の生活の時間について考えてみようね。そのためにも、今からやる問題で、今日の発見をしっかり使えるようにしましょうね。

幼児期の 遊びを通した学び

と

算数科 データの活用

とのつながり

遊びを通した学び

リスの名前を決めよう…

「私はしましまちゃんがいいな」「決めた！これ」と全園児で自分の気に入った名前
の欄にシールを貼っていった。途中経過も見て分かりやすく、結果を楽しみにしている。



主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の必要感を捉え、どの名前が選ばれているかが分かるようにボードを用意しました。シールの数は選んだ幼児の数であり、一番多くシールが貼られている名前が選ばれるということ、視覚的に捉えられるようにしています。



遊びを通した学び

どんぐりいっぱい…

「何個くらいあるのかな」

「同じ大きさのどんぐりを並べてみよう」とビニール袋

に入れていたどんぐりを種類ごとに並べてみることで

数の違いに気付いている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

どんぐりをたくさん集めたことで、どれくらいの量だろうと興味をもっています。全部数えるのは難しいものの、自分たちで知りたかったことを支えていくことで気付きがあり、種類別にして比べたり数えたりすることの面白さを考えるきっかけにつながっています。



遊びを通した学び

夏野菜の収穫をしたよ…

「どれが一番多いのかな」と野菜の種類ごとに分けたことで、多い少ないがより分かるようになった。

遊びを通した学び

回りますように…

「よし回った」「4個回った」

「さっきよりたくさん成功したね」と何個コマが回ったかを記録することで成功した数が分かり、挑戦

することを楽しんでいる。



主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

成功と失敗を繰り返しながら、より多くのコマを回すことに挑戦することを楽しんでいます。コマが回った数を数えて励ましたり、成功した数を表示したりしたことで、幼児は自分たちの目標に向けて粘り強く挑戦を続けています。



遊びを通した学び

ゴールをねらって…

「よし得点を入れるぞ」「4-5だからあと1点で追いつく」とゲーム遊び

では得点分かるように数字や表にすることで数の大小を理解

している。



遊びを通した学び

ダーツで遊ぼう…

「やった！当たった」「残念だった」

「よし次は真ん中をねらうぞ」と的の

場所によって得点をつけたり、表

にしたりして対戦を楽しんでいる。

幼児教育を通して育まれた10の姿

●数量や図形、標識、文字への関心・感覚

●思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見られますが、ここではあえて「データ活用」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

●物の個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりする力

●個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉える力

幼児期の遊びを通した学び

絵や図を用いて数量を表そうとしている。

目標

- (知識及び技能) 数量の整理に関わる数学的活動を通して、物の個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりする。
- (思考力、判断力、表現力等) データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉える。
- (学びに向かう力、人間性等) 集めた資料の結果を分かりやすく整理しようと試行錯誤する。

学習計画

- ①(本時) 大きさや長さの違うものも、個数として同じ「1」として捉え、種類ごとに分類整理する。
データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉える。
- ② 身の回りの事象について、実際に調べ、特徴を捉える。 ※丸囲み数字は授業時数

【授業展開例】

経験を想起

幼児期の経験を振り返りながら、数の大小比較に関心をもつ。



- ★園での生活の中などで、遊びやゲーム屋さんで、得点を数えたことがありますか？
 - 的あてゲームをしたことあるよ。
 - ボウリングで全部倒れたら、10点だった。
- ★さかな釣りゲームで、〇〇くんチームはこれだけ釣れました。
 - カニが多いよ。
 - 魚が多いよ。
 - 違うよ、魚は大きいけど二匹だけだよ。
- ★何が一番多く釣れたかな？



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期における数の大小比較の経験を出し合い、興味・関心を高める。

かずを わかりやすく せいりしよう。

問いを焦点化

どのように分類整理するとよいか、考える。

- ★何が一番多いか、一目で分かるようにしたいね。
 - 数えて数字で書いたらいい。
- ★一目で、ぱっと分かるようにしたいなあ。
 - まずは種類ごとにまとめよう。
 - そのまま並べたら、大きな魚の数が大きいから比べられないよ。

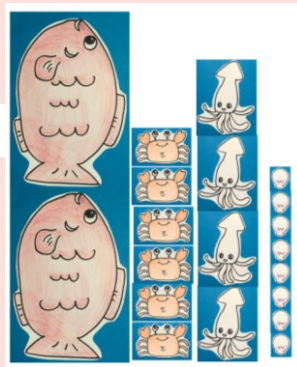
ぱっと見て分かるようにしたい！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

教師がわざと端をそろえずに並べたり、大きな魚をそのまま並べたりして、数量を比較するには、端をそろえることや個数として見ることを顕在化させる。



やってみる

整理しながら、よりよい方法を考える。



- ★この魚の絵をこうやって（端をそろえずに）並べたらいいね？
 - だめだめ。端をそろえないと比べられないよ。
- ★端をそろえて並べたよ。これで一番多い魚が分かるね！（大きい魚が多く見える。）
 - あれ、やっぱり大きなお魚が一番多いかな。
 - 端をそろえても、一つずつの大きさもそろえないとだめだよ！
- ★そうなの？ どうして端をそろえるだけでは、比べられないのかな？
 - 今は数を比べるんですよ。大きさは関係ない。大きくても小さくても、一匹なら数は同じ「1」だから、一つの大きさをそろえないと、高さで比べられない。間違えちゃう！



試行を吟味

絵グラフを見て、気付いたことを話し合う。

- ★では、同じ大きさにして、端もそろえました。どう？ これで間違えないかな？
はじめの絵と比べて、分かりやすくなりましたか？ はじめの絵と今の絵は、どこが違いますか？
 - そう！ これなら大丈夫！ まちがえない！
 - はじめは、ばらばらで、混ざっていたけど、同じ種類がまとまっている。
 - 一匹が同じ大きさだから、並べるだけでどれが一番多いか分かる！ 少ないのもすぐ分かる。二番目もすぐに分かるよ。だって、一番の次に高いところを見たらいいから。
- ★多い順番も、すぐに分かるのですね。先生ね、数字だけで書いたものも、つくってみたの。ほら、これ。この今の絵とこの数字だけと比べてどう？
 - 数字だけは、二番、三番と探すのに時間がかかるけど、今の絵は、高さですぐ分かる。
 - 数字だけよりも、絵が並んでいる方が、見ようと思うし、分かりやすい。

比べると、全然違うね！
すごく分かりやすくなった！



発見する

分類整理するには、①種類ごとにまとめること、②並べるときは、一つ分を同じ大きさにそろえることが必要。

- ★数を分かりやすく整理するには、①種類ごとにまとめること、②一つ分を同じ大きさにそろえることが大事だね。
 - ブロックを並べるときと同じように、端もそろえないとね。
 - 同じ大きさのシールをその魚の数ずつ並べたら、もっと分かりやすいと思う！

お話

お茶の水女子大学附属幼稚園

佐藤 寛子先生

川崎市総合教育センターカリキュラムセンター

山城 祥二先生

生活科の特徴

生活科は、具体的な体験や活動を通して「生活に関わる見方・考え方」を生かしながら資質・能力を育む教科です。

幼児期から遊びの中で身近な人や自然、社会との触れ合いを通して育まれた豊かな感性を生かし、小学校以降では体験活動と表現活動の相互作用を軸に、気づきの質を高めていきます。また、学習指導要領解説総則編では、幼児教育との接続においては生活科を中心とした合科的・関連的な指導を重視しています。幼児教育を通して生まれる学びの芽生えを小学校教育の学びの基礎へとつなげていくという意識が大切です。

幼児期の遊びを通して育まれた「感じる」「気付く」「繰り返し関わる」「考える」「試す」「工夫する」といった資質・能力が、生活科を中心とした学習において発揮できるようにしていきます。生活科における栽培活動や身近な自然やものを使った遊び、学校探検や季節を感じる活動の中で、幼児期に体験したことを想起させたり、そこで得た気づきを授業に生かしたりすることで、児童はそれまでに培った学びを生かしながら主体的に学びに向かう姿につながります。

幼児期の遊びを通した学び

幼児は身の回りの人、もの、ことなどの対象に豊かに関わり、じっくり遊ぶ中で、様々に感じたり考えたりしています。そして、自身の世界を広げたり深めたりしていきます。また、夢中になって遊ぶ中で味わった実感は、小学校以降の生活や学習に向かう意欲や態度へとつながっていくでしょう。

具体的には…

- 水、砂、土などの自然物に興味をもち、自ら体全体を使って遊ぶことで、感触を味わい、その性質に気付いている
- 空き箱や新聞紙などの身近材を見立てたり、材料から刺激を受けイメージを膨らませたり、イメージしたものをつくりながら、遊びに必要なものをつくりだすことを楽しんでいる
- 身の回りの人、もの、こととの関わりの中で、うまくいかないもどかしさや戸惑いを感じ、どうしたらよいかと考え、試行錯誤しながら自分なりに解決しようとしている
- 育てた野菜や、工夫して採った園庭の樹木に実った果実を調理するなどして、みんなで分け合いながら食べるおいしさや楽しさを味わっている
- みんなが楽しく遊び、心地よく過ごしていくために必要なルールを考え、つくっていくこうとする

幼児期の 遊びを通した学び

と

生活科 学校と生活

とのつながり



遊びを通した学び

ねずみばあさんが…
絵本の登場人物が園にもいるかもしれないと、みんなで集まり何やら相談。「ねずみか好きなものをこっそり置くのはどう？」翌日、園庭に夏みかんを置いていた。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

絵本の読み聞かせからイメージが広がり、目に見えない世界を友達と一緒に自分たちの生活と結び付けています。イメージの世界と現実を行き来しながら広がる遊びを見守ります。



遊びを通した学び

牛乳パックの電車を走らせて…
「1番線、まもなく電車が到着します」廊下につくった駅を拠点にして、友達とやり取りしながら走らせる。「もっと長くつなげよう！」

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

大好きな電車で遊ぶ場に、廊下を選んだ子供たち。牛乳パックの電車も長い廊下のように、どんどん延びていきます。やりたい遊びに適した場所を自分で選んで過ごすことができることで、イメージも友達との関わりも広がっていきます。



遊びを通した学び

遠足で看板を発見！
「ゴミは持ち帰るんだって！」と書かれていることをみんなで読むと、おやつのごみを自分のリュックへ入れている。



遊びを通した学び

芋掘りでたくさん収穫…
「たくさんとれたから食べてください」掘ってきたジャガイモを近くのこども園やナーサリー、毎朝「おはよう」の挨拶をする守衛さんにお裾分けしている。



主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

園外に出掛けるといろいろな人たちと出会います。出会いや関わりを大切にすることで、いろいろな人が暮らしていることに気づき、自分たちの生活に関係のある人たちへの親しみの気持ちを表すようになります。



遊びを通した学び

「お砂糖、どこかな…？」梅ジュースづくりの材料を買いに店へ。家族と行く買い物とは違い、緊張した様子。無事に買って意気揚々と園に戻っていく。



遊びを通した学び

隣の小学校から流れてきた音楽…
「何をしてるんだろう？」と興味津々。思わず遊びを止めて「見てみたい」と集まってきた。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 社会生活との関わり
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 言葉による伝え合い

※これらの活動では他にも「思考力の芽生え」「健康な心と体」「豊かな感性と表現」などの姿も見とれますが、ここではあえて「学校と生活」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 学校での生活は、様々な人や施設と関わっていることが分かる
- 学校の施設の様子や学校生活を支えてくれている人々、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々について考えている
- 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする

幼児期の遊びを通した学び

身近な地域を散策したり、そこにある人・もの・ことと関わったりする活動を通して、「感じる」「気付く」「考える」「表現する」といった思考を働かせる。

目標	(知識及び技能の基礎) 学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かる。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) 学校の施設の様子や学校生活を支えている人々、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える。 (学びに向かう力、人間性等) 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとする。
学習計画	①② 園と学校の違いから、学校の中で行ってみたいところを話し合う。
	③④⑤⑥(本時) 学校を探検して気付いたことを伝え合い、学校のキラキラ(すてきなところ)を共有する。
	⑦⑧⑨⑩⑪⑫ もっと詳しく知りたい場所や、会ってみたい人について話し合い、繰り返し学校探検に行く。
	⑬⑭⑮ ※丸囲み数字は授業時数 学校探検で気付いたこと等を地図上に表し、キラキラ学校地図をつくる。

【授業展開例】

思いをもつ

園と学校の違いについて話し合い、学校の中を探検したいという思いや願いをもつ。

★皆さんが通っていた園と比べて学校はどうですか。面白そうなところや行ってみたいと思ったところがありますか？



- こんなに広い校庭があるなんてすごい。遊具もあったよ。
- 入学式をやった体育館もすごく広かったよ。
- 保育園のお散歩のとき、学校からきれいな音楽が聞こえてきたよ。楽器がある場所がどこかにあるんじゃないかな。
- 教室に来る途中で大きな道具が置いてある部屋があったよ。何に使うんだろう。
- 廊下の奥に階段があったよ。どこにつながっているんだろう。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園との比較から、子供の学校への興味・関心を引き出し、学校の様々な場所に行ってみよう、学校でこんなことをしてみたいという思いや願いが生まれるようにする。その際に園と共通することを感じさせ、学校への安心感へつなげる。

★気になるところがいっぱいですね。大きさは違っても、園庭や教室、園と同じところもたくさんあるのでしょうか。学校にしかないものもあるかな？ わくわくしますね。

伝え合う

学校の中で行ってみたい場所ややってみたいことを伝え合う。

学校の中で行ってみたいところを探検しよう。

★では、これから学校を探検してみましょう。まずはどんなところに行ってみようですか。



- まずは、教室に来る途中であった大きな道具が置いてある部屋に行ってみよう。見たことない機械や大きな絵が飾られていたよ。
- どこからか歌っている声や楽器の音が聞こえてきたよ。どこかに楽器がたくさんある部屋があるんだよ。探しに行きたいな。
- 階段がいくつかあったよ。どこにつながってるか調べてみたい。何階まであるのかな。
- 私のお兄ちゃんは3階で勉強してるって言ってたよ。会いに行きたいな。
- 入学式で行った体育館にも行ってみたい。きっと広いからたくさん遊べるよ。
- 校庭がすごく広いから、思いっきり走りりたいな。あと、鉄棒やジャングルジムもあったよ。あそこでみんなで遊びたいな。

★(子供の思いや願いを模造紙等にまとめていく。)たくさん出てきましたね。では、今日は、みんなが気になっていた同じ階の部屋に行ってみよう。

いろいろな場所に行ってみよう!



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園との違いから、子供の学校への興味・関心を高め、学校の様々な場所に行ってみよう、学校でこんなことをしてみたいという思いや願いを伝え合い共有しながら、視覚化を図る。

探検する

子供の思いや願いに合わせて、学校探検に行く。(1回目)

- すごい!木でできた机だよ。なんだか傷が付いているな。ここで何をするのか。
- お姉ちゃんがカッターとかのこぎりを使って作品づくりをするって言ってたよ。私もそういうのやってみたいな。
- 幼稚園でも工作したことあるよ。学校ではこの部屋で工作するのか。
- 入口に部屋の名前が書いてあったよ。先生に聞いたら、図工室って読むんだって。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「もっと〇〇したい」という思いや願いが膨らむように、子供の発言を模造紙にまとめ、行ってみたい場所リストをつくる。探検を繰り返し行う中で、リストが増えていくようにする。

次はどこに行こうかな!



振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

★面白いものがたくさんある部屋でしたね。みんなが気付いたことを教えてください。(上記の気づきを言語化、動作化するなどして表現し、板書にまとめる。)(リストを見ながら) 次の時間に行きたいところはどこかな。次時へのめあてにつなげる。

幼児期の遊びを通した学び

生活科と自然やものを使った遊びとのつながり



遊びを通した学び

「葉っぱで枕をつくる！」園庭のイチヨウの葉をビニール袋に詰めると、枕をつくり始めた。枕カバーになるように不織布を渡すと、イメージ豊かに絵をかいた。そっと頭を乗せて**「草の匂いかするよ」**とつぶやいている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

季節の色、匂い、空気、風…。幼児が全身で感じ、気付いたことを保育者も共に味わい、楽しめます。幼児のイメージを捉えて、タイミングを逃さずに教材を提示してみることで、幼児の体験が繋がっていきます。



遊びを通した学び

段ボール製のロボット…完成させると、**「ロボットで家に帰りたい！」**と言い、段ボールの顔を一度外し、かばんをちゃんと背負うと、ロボットのまま保護者の待つ玄関に向かっていった。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

イメージを形にできるよう、保育者は幼児の力量に応じた援助をします。思いが実現できた嬉しさや満足感が**「ロボットで家に帰りたい」**という思いとなって表れ、自信をもって自分の世界を表現し始めます。



遊びを通した学び

「これ使うと便利だよ」道具（ドレッシングマドラー）を使いながら、その特徴に気付き、使いこなしている。用途を超えた使い方を工夫している。



遊びを通した学び

拾ってきたどんぐりと松ぼっくりをお気に入りの箱に並べ始める。**「きれいに並べたいのだけど、転がっちゃうの」と**並べ方にこだわりが出てきている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

きれいに並べたいという思いが叶うよう、保育者も一緒に考え、用途に適した木工用ボンドを渡すと、子供は丁寧に付け始めました。思いがこもった魅力的な作品は、周りの子供のやってみみたい気持ちを誘います。



遊びを通した学び

「いないねえ」夏の間たくさんいた昆虫がなかなか見付からなくなってきた。**「秋になったのかな・・・」**子供は遊びを通して季節の変化を感じている。



遊びを通した学び

「こんなのできたよ！」拾ってきた枝や松ぼっくりに、好みの色の毛糸を巻いて、オリジナルのオーナメントが完成。クリスマスツリーに飾っている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 自立心
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「健康な心と体」「自然との関わり・生命尊重」などの姿も見とれますが、ここではあえて「自然やものを使った遊び」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 遊びや遊びに使うものをつくる面白さや自然の不思議さに気付く
- 遊びや遊びに使うものを工夫してつくり出せる
- みんなと楽しみながら遊びを創りだそうとする

幼児期の遊びを通した学び

身近にあるものや自然を使って、遊んだり、遊びに使うものをつくりたりする活動を通して、「考える」「試す」「工夫する」「表現する」といった思考を働かせる

目標	(知識及び技能の基礎) 遊びや遊びに使うものをつくる面白さや自然の不思議さに気付く。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) 遊びや遊びに使うものを工夫してつくり出せる。 (学びに向かう力、人間性等) みんなと楽しみながら遊びを創りだそうとする。
学習計画	①② 身近な公園や校庭で秋の自然と触れ合い、楽しかったことを伝え合う。
	③④⑤⑥(本時) 秋の自然を使った遊びを通して、もっと〇〇したいという思いや願いをもち、秋に繰り返し関わる。
	⑦⑧⑨⑩ もっと〇〇したいという思いや願いをもち、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり出せる。
	⑪⑫⑬⑭ ※丸囲み数字は授業時数 みんなと遊ぶために、遊びの約束やルールを工夫して、秋の遊びランドを実施する。

【授業展開例】

思いをもつ

今までの経験を振り返りながら身近な自然を使った遊びを想起し、「秋の自然で〇〇したい」という思いや願いをもつ。

★この前は、公園や校庭でたくさん秋を楽しみましたね。そこで、皆さんがもっと学校の中でも秋を楽しみたいということで、秋の自然をたくさん持ち帰ってきました。園でも、秋を楽しんだことはありますか？



★教師

- 葉っぱを集めてみんなで寝転がったのが気持ちよかったよ。
- どんぐりをお金にしてお店屋さんごっこをしたよ。店の看板もつくったよ。
- 秋のものを使っておままごとしたのが楽しかった。

★たくさん楽しいことを経験しているんですね。最後は看板をつくってみんなでお店屋さんにするのもいいですね。今日は園で遊んだことも思い出しながら、1年生バージョンの秋の遊びを楽しみましょう。



●児童

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

公園や校庭での秋遊びの楽しさを十分に味わうことで、学校でも秋で楽しみたいという思いや願いが生まれる。その際に、幼児期での遊びを想起させることで、園での経験を生かし、遊びが更に発展していく。

遊ぶ

秋の自然を使った遊びの見通しをもち、秋の遊びを楽しんだり遊びに使うものをつくりたりする。

学校で秋の自然を使った遊びを楽しもう。

★今日は、広い多目的室で遊びましょう。みんなが集めた秋の自然をまとめた秋の自然コーナーもつくったので、たくさん使っていていいですよ。では、どうぞ。



★教師

- 葉っぱのお風呂をつくってみんなで入ってみようよ。
- 秋はきれいな色のものがたくさんあるから、秋の服をつくりたい。
- どんぐりを回すとコマみたいになるよ。もっと回したい。
- 秋を使ってたくさんお料理ごっこしたいな。
- 秋のものがたくさん集まったから、これで宝物探しをしたいな。
- 秋の葉っぱはお魚みたいに見えるから、釣りをしてみようよ。

幼稚園のときよりパワーアップだ！



●児童

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「もっと〇〇したい」という思いや願いが膨らむように、広い空間で遊べるようにしたり、秋の自然をたくさん集められる場、必要な道具を使える場等を用意したりして、幼児期の経験を生かせる環境をつくる。

どんぐりの形で比べっこ！

交流する

遊んで楽しかったことや工夫したことについて伝え合う。

★遊んでみて楽しかったことや遊びの中で工夫したことはありますか？



★教師

- 葉っぱのお風呂の中に秋の宝物を入れたら、宝探しができて面白かった。
- どんぐりコマは、使うどんぐりによって回り方が違って面白いよ。
- お料理ごっこでは、大きな葉を使うと料理を入れるお皿もつくれたよ。
- 釣りのときに、葉っぱが乾いていて取りにくいから、取りにくい葉は高い点数にしたよ。
- ごみ袋にたくさん秋のものを付けるとかわいい服ができたよ。

それ楽しそう！私もやってみよう！

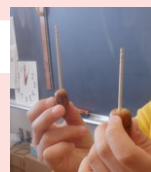


●児童

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

単元目標を意識しながら、遊びを通して得た気づきを価値付け、クラス全体で共有していくことで、思いや願いの実現に向けて新たなヒントが得られるようにする。



振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

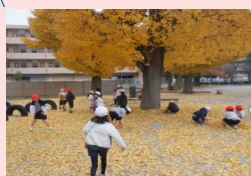
- 今度は、宝探しで見付けやすいようにどんぐりをカラフルにしたいな。
- かわいい服ができたから、今度はファッションショーをやりたいな。
- 秋の自然のものが足りないから校庭や公園に集めに行きたいな。
- 秋の楽しいところ、面白いところがたくさん見付かったよ。

★今日も秋の楽しさや面白さがたくさん見付かりましたね。次はもっと楽しいことができそうですね。



●児童

面白い形の葉っぱ見付けたよ！



幼児期の遊びを通した学び

と

生活科 動植物の飼育・栽培

とのつながり



遊びを通した学び

5歳児が世話をしている畑の野菜を、3歳児が採ってしまった。収穫を楽しみにしていた5歳児。けれど3歳児を責めるわけにはいかないと「**どうだ！ かかしをつくろうよ**」と提案している。

保育者の援助と環境の構成

5歳児が年下の幼児の思いを想像し思いやって「かかしをつくろう」と思い付いたことを遊びに生かし、つくる材料を一緒に探しながら用意します。栽培から収穫への過程にある様々な気付きが発達に必要な体験となるよう、環境を再構成していきます。



遊びを通した学び

今日も誘い合ってお目当ての幼虫を探しに行った二人。「**柔らかい土が幼虫はお気に入りなんだ**」「**けっこう深いところにいるんだよね**」虫の生育場所にも詳しくなっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

互いに思ったことや考えたことをつぶやいたり聞いたりしながら、じっくり取り組む時間や空間を保障します。その子なりの環境への関わり方や感じ方を認め、大事にすることは、人、もの、ことと主体的に関わろうとする気持ちを育みます。



遊びを通した学び

モルモットのお世話…

「**この葉っぱはあんまり食べないね**」「**園庭にあるクローバーが好きみたいだよ！**」と親しみをもって世話をしながら、動物の特徴に気付いていく。



遊びを通した学び

園庭のピワの実が色付き始めたことに気付くのは、昨年の経験がある5歳児。最初にこっそり味見して、「**小さい組にも分けてあげよう！**」とみんなに振る舞っている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

園庭に実のなる樹木のある豊かさ。花から実への変化を楽しみ、自然の恵みを収穫する、分け合って食べるなどの体験を通して、みんなで暮らす気持ちが育まれていきます。



遊びを通した学び

「**ピワの種、植えたいんだ！**」ピワをおいしく食べた後、とっておいた種を握りしめて持ってきて、土と植木鉢を大急ぎで用意。芽が出ることを期待しながら友達と種を植えている。



遊びを通した学び

「**大根、このくらい大きかった！**」掘った大根の大きさに心が動いていたので、翌日、大きな紙と絵の具を用意。のびのびとかき始める。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 自然との関わり・生命尊重
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「道徳性・規範意識の芽生え」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見とれますが、ここではあえて「動植物の飼育・栽培」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 動植物は生命をもっていることや成長していることに気付く
- 動植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる
- 生き物への親しみをもち、大切にしようとする

幼児期の遊びを通した学び

生き物を飼ったり、植物を育てたりする活動を通して、対象に働きかけながら「見付ける」「気付く」「考える」「試す」「工夫する」「表現する」といった思考を働かせる。

目標	(知識及び技能の基礎) アサガオは生命をもっていることや成長していることに気付く。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。
	(学びに向かう力、人間性等) アサガオへの親しみを持ち、大切にしようとする。
学習計画	①② 幼児期の栽培活動の経験を想起したり、アサガオの種の観察をしたりして、植物を育てたいという思いをもつ。
	③④⑤⑥⑦⑧(本時) 自分の思いや願いに合わせて、アサガオを観察したり、アサガオの育て方について調べたりして、気付いたことを友達と交流しながら栽培の工夫を考え、実践する。
	⑨⑩⑪ ※丸囲み数字は授業時数 枯れてきたアサガオをどうしたいか話し合い、話し合ったことを実践する。

【授業展開例】

気付きを共有

前時でアサガオを観察した際に気付いたことを伝え合う。

★前の時間にアサガオの観察をしましたね。皆さんのアサガオ日記にもたくさん気付いたことが書かれていました。観察めがねでよく細かいところまで観察していてすてきです。

観察をして気付いたことがある人は教えてください。

- アサガオさんの背が前より消しゴム3つ分くらい高くなったよ。
- 葉っぱの数が前より8枚も増えていたよ。葉っぱの大きさも大きくなったよ。
- 私のアサガオは元気がないよ。もっとお水をあげればよかったかな。

★みんなが大切に育てているから大きくなっているのでしょうか。

でも、困ったことがある人もいますようです。同じように困っているという人はいますか。

では、今日は、アサガオがもっと元気に大きくなるにはどうすればよいか考えましょう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

観察の際に、ペーパーの芯を2つつけてつくる観察用のめがねや、携帯できるアサガオ日記など、園での遊びを生かしたアイテムをつくることで観察の意欲を高める。

話し合う

観察して気付いたことをもとに、栽培の工夫について話し合う。

アサガオがもっと元気に大きくなるにはどうすればよいか考えよう。

★園などで植物を育てたときに、どんな時にどのような工夫をしたか教えてください。

- アサガオに名前を付けて、毎日声を掛けてあげたよ。
- 毎日見に行って、一日3回お水をあげたよ。
- 太陽が当たっているところに置くと、元気になるよ。

★どんな工夫ができそうか話し合ってみましょう。

- お水はいつもどのくらいあげたらいいかな。友達に聞いてみたい。
- 毎日アサガオパトロールをして、太陽が当たっているところに場所を移してあげよう。
- 名前を付けるのはいいね。私のアサガオにぴったりの名前を考えたいな。
- 園では看板をつくって花壇に置いたよ。アサガオも嬉しいんじゃないかな。
- 園では歌をつくって歌ってあげたことがあるよ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園での栽培活動を想起することで、それぞれの経験から得た気付きが関連付けられ、栽培の工夫についてのヒントとなるようにする。話し合った内容は模造紙等にまとめ、栽培の工夫の根拠となるようにする。

ベアやグループで相談タイム



試す

話し合っ考えた栽培の工夫について実際に試す。

★では、今話し合ったことを、実際に試してみましよう。アサガオのところに行きましよう。

- 水やりのお水の量を決めて、毎日あげてみよう。日当たりがいいのはここかな。
- アサガオの看板用にアサガオの絵をかくてあげよう。
- アサガオの名前はどのようなかな。よく観察してから決めたいな。

★みなさん、それぞれ考えた工夫をやってみることができましたね。次の時間にはこの続きをしましよう。楽しみですね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

アサガオへの思いや願いを素直に表現する中で、アサガオの成長を歌にして歌ったり、成長の様子からイメージを膨らませて絵に表したりすることで、幼児期の「豊かな感性や表現」とつながる。

振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

★今日の活動で考えたことや、やってみた工夫についてアサガオ日記にまとめましよう。

- アサガオをよく見て、自分のアサガオだけの特別な名前を付けたい。
- アサガオの水やりをするとき、〇〇さんが言っていたように量を増やしてみようかな。毎日声も掛けに行こう。
- アサガオの看板にお花が咲いたときの絵を想像してかきたいな。

★次の時間からどんなことをしたいですか。

- さっそくアサガオの看板づくりをしよう。
- 私は、毎日パトロールに行き行って声を掛けるよ。



幼児期の 遊びを通した学び

と

生活科 自分の成長

とのつながり



遊びを通した学び

竹馬に挑戦…
友達が乗れるようになっていく中で、なかなかコツがつかめずにいた。それでも、諦めずに毎日挑戦。この日、ついに乗れるようになって「先生、見てて！」と嬉しい気持ちを伝えている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児がやりたいと挑戦し始めたことを応援します。心の動きを捉え、言葉で励ます、手を添えるなど、状況に合わせた援助を心がけます。諦めずに取り組み、できるようになった嬉しさは、自信につながります。



遊びを通した学び

「よいしょ！ よいしょ！」
「誰か、手伝って〜！」一人じゃとても運べない重たい机もみんなと一緒になら大丈夫。嬉しくなって、「よいしょ！」の声も大きくなっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一人でできることが増えていくことだけでなく、困った時に助けを求められることも大切にします。「みんなと一緒にだと運べたね」などと言葉に出すことで、力を出し合うことの大切さや助け合える仲間の存在に気付いていけるよう、働きかけます。



遊びを通した学び

絵をかきたい思いが膨らんで「**お庭でかきたいな！**」保育者と一緒に場をつくる。「**僕もやる！**」と周りの幼児たちもやってみようという気持ちが高まって楽しみながらかく。



遊びを通した学び

「〇〇くん、ピワ採ってくれる？」「よっしゃ！名人に任せてくれ！」ピワを採ろうと方法を考え、それを実行。自分の力を発揮し、自他共に認める名人となる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一人一人がしたいことを見付け、じっくり取り組む環境を保障し続けることで、自分の力を発揮するだけでなく、虫取りなら〇〇くん、木登りなら△△ちゃん…など、互いの得意なことが分かって認め合う関係性ができてきます。



遊びを通した学び

5歳児が、飼っているカブトムシを4歳児に分けてくれ、「**こごを持つといいよ**」と説明すると、真剣に聴く4歳児。年長組への憧れの気持ちが膨らむ。



遊びを通した学び

牛乳パックの船を真似て、空き箱で船づくり。水に浮かべるとすぐに崩れてしまった。「**どうして浮かばないの？**」と疑問をもって試している。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「協同性」「豊かな感性と表現」などの姿も見とれますが、ここではあえて「自分の成長」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分が大きくなったこと、できるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる
- 自分のことや自分を支えてくれた人々について考える
- これまで支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする

幼児期の遊びを通した学び

園での学びを振り返ったり、そこで出会った人、もの、ことと自分との関わりについて「感じる」「気付く」「考える」「表現する」といった思考を働かせる。

目標	(知識及び技能の基礎) 自分が大きくなったこと、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) 自分のことや自分を支えてくれた人々について考える。
	(学びに向かう力、人間性等) これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活する。
学習計画	①② 1年生のこれまでの思い出を伝え合い、学習の見直しをもつ。
	③④⑤⑥(本時) タイムカプセルをつくるために、家の人や園の先生、友達などから情報を集める。
	⑦⑧⑨⑩ タイムカプセルの中身について友達と交流することを通して、自分のことや自分の成長について表現する。
	⑪⑫⑬⑭ ※丸囲み数字は授業時数 タイムカプセルを開ける頃(2年生の最後)に、どんな2年生になりたいか考え、まとめる。

【授業展開例】

伝え合う

タイムカプセルをつくるために集めた情報をもとに、友達と交流する。

★タイムカプセルをつくるために、これまで自分ができるようになったことや成長したことなどをたくさん集めてきましたね。どんなことがありましたか。

- お家の人から、毎日自分から宿題ができるようになったねって言われたよ。
- アサガオがきれいな花を咲かせたのもぼくがたくさんお世話したからだ。
- 弟の保育園のお迎えに行ったとき、保育園の先生にすごい大きくなったねって言われたよ。これも私の成長だね。

★すごい！たくさん見付かりましたね。お家の人や園の先生に聞いて自分の成長を見付けた人もいますね。よいアイデアですね。では、自分のできるようになったことや成長をもっと伝え合いましょう。

見付けた自分の成長を伝え合おう。

- 生活科の学習で、毎日お家の手伝いをするようになったよ。
- 学校のこともたくさん知って、今はどこでも行けるね。
- 「初めて書いた名前」の作品を見ると、今の字と全然違ったよ。

★生活科やこれまでの学習を振り返ったのですね。学びを生かしていて素晴らしいですね。

- 幼稚園のときより字も書けるし計算もできるようになった。
- 私は保育園のときに比べて、給食を残さず食べられるようになったよ。

★園のときの自分を調べることで、今の自分の成長が見付かったのですね。すてきですね。

- お家の人に小さい頃の話を知ると、今できるようになったことがたくさん分かりそうだよ。
- 幼稚園は近くだから、〇〇先生に園のときの話を聞いてみたい。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

年間を通して生活科で学んだことなどを掲示物に残しておくことで、子供が自分の学びや成長を振り返ることができるようにする。その際、園での学びも踏まえて、自身の成長の気付きにつなげる。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「前は～だったけど、今は～になったよ」など、過去の自分との比較や、「〇〇に聞いたら…」など、身近な人々から聞いた話等をもとに自分の成長に気付いている子供の話題を共有し、「比べる」という思考につなげるようにする。

ペアやグループで比べっこ！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園での経験や園で学んだことと比較して、できるようになったことや成長したことを振り返るきっかけにする。また、園で多くの情報を集められるように事前に園と打ち合わせをするなど連携しておく。



計画する

次の時間にもっと調べたいことを書いて、インタビュー計画を立てる。

★自分の成長を見付けるヒントが出てきたようですね。次の時間はどんなことをしたいですか。

- お家の人に私が成長したと思うところを聞いてみたい。
- 学校の先生に聞くのもいいかも。保健室の先生もいつも私たちを見てくれるから、たくさん教えてくれそうだよ。
- 園の先生に会いたい。園のときの話を聞いたら、いろいろ分かりそうだよ。
- 6年生に聞いてみてもいいね。ずっと一緒にいてくれたものね。

★聞いてみたい人がたくさん出てきましたね。では次の時間はインタビューをしに行きましょう。インタビューで聞いてみたいことを成長メモに書いておきましょう。

振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見直しをもつ。

- お家の人に、幼稚園のときの私の話を聞いてみたい。
- 保健室の先生に聞けば、体が大きくなったことも教えてくれそうだよ。
- 保育園の先生に、今の自分のことを伝えたい。園での思い出もたくさんお話ししたい。
- 6年生に、私たちが成長したなと感じることを聞いてみよう。
- タイムカプセルにたくさん私たちの成長したことが集まりそうだね。

★今日も自分の成長がたくさん見付かりましたね。次はたくさんインタビューできるといいですね。

